

ペンギンの防寒着②

上田 一生

【準備物】

- ①教科書 ②ノート ③筆記用具 ④国語辞典

今日は、

最初のページをつくる（感想文を書こう）
ことを行います。

今日の手順

- 一 作品を丁寧に読み、味わう。（教科書P.32～34）
- 二 筆者が「問題提起」していることは何かを読み取る。
※教科書P.32「序論」から探す。
- 三 「問題提起」に対しての「結論」を読み取る。
※教科書P.35「結論」から探す。
- 四 「ペンギン」の「保温」の仕組みについて、筆者はいくつの具体例を挙げているかまとめる。
※教科書P.34～35「本論」をまとめる。

今日は以上、四つの手順で行います。

それでは、始めましょう。

5/22（金）一時間目

ペンギンの防寒着②

上田 一生（うえだ かずおき）

「問題提起」を読み取ろう

（「序論」から）

ペンギンたちはどのようにして厳しい寒さをしのいでいるのでしょうか。

※この厳しい寒さ

真冬にはマイナス六〇度にもなる南極の

厳しい寒さ

「問題提起」に対しての筆者の「結論」

ペンギンは、脂肪層、皮膚、空気層、羽根、羽根に塗られた脂という、いわば五枚の層によってつくられた高性能の防寒着に身を包んで寒さから身を守っているというわけです。

「ペンギン」の「保温」の仕組みについて

三つの具体例を挙げている。

一つめ 羽根

- 一枚一枚の羽根が小さくペンギンの体をほぼ隙間なく覆っていて、防水性のコートのような役目を果たしている。
- 羽根と脂肪の間に空気の間層をつくって保温効果をあげている。（全体の80%～90%）

※新たな疑問 羽根の生えていないヒナはどうなるのか？

二つめ 脂肪層

- 脂肪をたくわえ、保温効果をあげている。
- 例）キングペンギン・エンペラーペンギン

※新たな疑問 「羽根の生えていないヒナはどうなるのか？」の解決

三つめ 羽根に塗る脂

- 尾羽根のつけ根の器官から出る脂を羽根の表面に塗ること
- で、水中で熱を奪われる量を軽減している。

以上です。参考にしてください。